

寺内タケシさんの追悼パネル展 エレキの神様が寄贈したギターも展示



6月23日～7月20までの間、レ・コード館で「エレキの神様」と呼ばれた寺内タケシさんの追悼パネル展が開かれました。

これは、寺内さんがコンサート開催やギターの寄贈など、同館の運営に尽力されたことから行われたもので、展示コーナーには、寺内さんのジャケット25点を選び、寄贈されたギターとともに展示されました。

日高信用金庫が100周年を記念し 児童用図書と災害用電源を寄贈



7月1日、レ・コード館図書プラザで日高信用金庫寄贈式が行われました。

これは、日高信用金庫（大沼孝司理事長）が今年創立100周年を迎えたことを記念し行われたもので、子どもたちの健やかな成長を願い「児童用図書51冊」と「災害用ポータブル電源1台」を寄贈されました。

朝日・新冠小学校運動会 白熱した競技練り広げられる



新型コロナウイルスの影響により延期となっていた運動会が、6月26日に朝日小学校、7月10日には新冠小学校で開催されました。

両校の運動会は、迫力のある応援合戦から始まり、短距離走やよさこいソーラン、玉入れや対抗リレーなどが行われました。

子どもたちは、家族に見守られながら、練習してきた成果を発揮し、全力でグラウンドを駆け抜け白熱した競技が繰り広げられました。

道央環境に感謝状贈呈 新冠中学校駐車場補修で地域貢献



7月9日、役場会議室で新冠中学校校舎前駐車場補修を行った、道央環境（札幌市）に対し、鳴海町長から感謝状が贈呈されました。

同社は、町内で日高自動車道の工事を施工しており、町へ地域貢献の申し出たことにより行われ、柳澤智志社長は「今後も地域のためにできることを増やし貢献していきたい」と話されました。

新冠小学校プールオープン 待ちに待った水泳教室始まる



7月13日、新冠小学校プールが2年ぶりにオープンし、14日～30日まで小学2年生を対象とした水泳教室が5回行われ、延べ122名の児童が参加しました。

最初の教室では、初めてプールに入る児童が多く、水を怖がる児童もいましたが、教室の最後にはみんなプールを楽しみながら参加していました。

馬術とカヌーで全国大会出場へ 静高生2名が町長を訪問し健闘誓う



7月16日、全道大会で全国大会の切符を手にした静内高校2年生の大林諒多君と1年生の小守優仁君が鳴海町長を表敬訪問しました。

大林君は、7月19～21日に静岡県で行われる「第55回全日本高等学校馬術競技大会」に出場し、小守君は、8月18～21日に福井県で行われる「第37回全国高等学校カヌー選手権大会」に出場します。

まちの話 題

あれこれ

えましあ茶ロン お菓子と七夕飾り作り



7月19日、「サポーターセンターえましあ」で、えましあ茶ロン『お菓子と七夕飾り作り』が行われ、10名が参加しました。

この日は、同センターの土田美智子マネージャーが講師となり、お菓子作りと七夕飾り作りを指導しました。

お菓子は事前にスライスされたカステラでようかんをサンドして冷やし固める「シベリア」を作りました。

七夕飾りでは、さまざまなかや模様や短冊、吹き流しを作りました。出来上がった飾りに参加者は思い思いの願い事を書き、笹に飾りつけ、最後に出来上がったお菓子「シベリア」を皆でおいしく食べながら交流を深めていました。

ふるさと・再発見講座 「新冠市街地の歴史探訪く町あるき」



7月17日、昔の新冠の様子を探訪する「新冠市街地の歴史探訪く町あるき」が行われました。

郷土文化研究会の3名から、かつてあった公共施設や商店、今とは違う自然風景を分かりやすく紹介し、また、説明に併せて昔の写真も紹介しました。

参加者は興味深く写真を見て、熱心に話を聞いていました。

8月8日から長野県で開催される 東日本選抜野球大会出場



7月21日、第10回日本リトルシニア東日本選抜野球大会に出場する日高リトルシニア（浦河町）の新冠中学校の佐藤秀斗君（3年生）、矢野朝輝君（2年生）、樋渡映之介君（1年生）の3名が鳴海町長を表敬訪問しました。

選手を代表して佐藤君は「チーム一丸となって全力でプレーし、良い結果を残せるように頑張ります」と意気込みを語ってくれました。

中体連全道大会 出場選手 健闘誓う



7月21日、中体連全道大会に出場する新冠中学校生徒21名が鳴海町長を表敬訪問しました。

生徒たちは、それぞれ抱負を発表し、町長から生徒に対し激励の言葉がありました。

出場種目は、サッカー、卓球、男子バレーボールの3種目で7月30日～8月1日にかけて開催される全道大会に出場します。